

事業名 : 自然エネルギーの普及モデル構築等支援委託業務	
会議名称	自然エネルギー上小地域学習会
開催日時	平成 23 年 11 月 14 日 (月) 13 : 30 ~ 15 : 30
実施場所	上田駅前ビル「パレオ」2 階会議室
参加者	41 名
講師	田中 信一郎氏 (長野県環境部温暖化対策課企画幹) 藤川 まゆみ氏 (うえだエネルギーシフト作戦会議) 末広 繁和氏 (ブレイクスルー研究会) 宮入 賢一郎氏 (NPO 法人 CO2 バンク推進機構)
記録者	太細 譲士

実施内容

【自然エネルギー信州ネットについて】

- ー自然エネルギー普及に向けての長野県の方針 (田中 信一郎氏) ー
長野県内総生産の 1.6%にあたる 3700 億円相当のお金が化石燃料の消費に消えている。これは、中東などの海外に流失しているお金であり、これを省エネや自然エネルギーに置換していくことで地域の仕事を増やしたい。環境・経済・地域の要素が大切である。
- ー自然エネルギー信州ネット設立の経緯と趣旨ー
来年から再生可能エネルギー固定価格買取制度が実施される。これに向け、地域の魅力を高める自然エネルギーの普及モデルを、地域の力で普及させたい。その手助けをするのが同ネット。
- ー同ネットと地域協議会の役割ー
全县に地域協議会を設置、地域の人々が集まり、地域の人々の力で特定事業型/ネットワーク型などの普及モデルの構築を目指す。

【自然エネルギー普及に向けた事例紹介】

- ーうえだエネルギーシフト作戦会議の取り組み (藤川 まゆみ氏) ー
「相乗りくん」という、太陽光発電普及モデルの紹介。自分の屋根にパネルを設置できない人が、できる人の屋根を借りて、12年間売電収入を得る。また、屋根の貸し手は、15年後にそのパネルをもらうことができるという仕組み。
- ーブレイクスルー研究会の取り組み (末広 繁和氏) ー
ブレイクスルー研究会では、省エネアイデアの支援や、専門家の紹介を行う。そのアイデア事例の紹介。炊飯器の蒸気を利用した「エコたまご器」というたまごを茹でるための道具や、ソーラーパネルのリサイクル品や自動車用バッテリーを利用した「簡易型太陽光発電装置」の紹介を行った。
- ーNPO 法人 CO2 バンク推進機構の取り組み (宮入 賢一郎氏) ー
「ながのエコシティプロジェクト」の紹介。ファンド型市民事業と寄付金型市民事業があり、それぞれ市民が参加し、設置先は負担金なく設置場所を提供し、使用した電量に応じた金額が事業者収入となる。ファンド型では、事業者収入から利息相当の上乗せを行い出資者へ配当を行い、寄付金型では事業者収入から必要経費を差し引いて還元金を生み出す仕組みとなっている。

【ワークショップ】

- 残りの時間を利用してワークショップを行った。参加者同士が自己紹介を行い、交流を深めた。

記録写真